



タイトル Title	韓国の「国家奨学金制度（給付型・所得連動返還型）」から学ぶ(プログラム)
著者 Author(s)	
掲載誌・巻号・ページ Citation	日韓シンポジウム,第4回:
刊行日 Issue date	2016-01-23
資源タイプ Resource Type	Presentation / 会議発表用資料
版区分 Resource Version	publisher
権利 Rights	
DOI	
JaLDOI	
URL	<a href="http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81010573">http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81010573</a>



「無償教育の漸進的導入」に係る公開研究会(5)／

大学評価学会「第4回日韓シンポジウム」を兼ねる

日時：2016年1月23日(土) 午後1～6時

場所：早稲田大学(早稲田キャンパス) 1号館4階401教室

アクセス：JR 山手線 高田馬場駅から徒歩20分／地下鉄 東西線 早稲田駅から徒歩5分 など

<http://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

## 韓国の「国家奨学金制度(給付型・所得連動返還型)」から学ぶ

日本と同様に「東アジア型の家族負担主義」(小林雅之 2012)に類型化される韓国では、大学納付金の減額化が政治的争点となり、2008年から給付型の国家奨学金が設けられている。その後も、支援の対象や内容(所得連動返還制度を含む)を拡充しつつあり、その経緯や仕組みの詳細を学ぶとともに、現状と課題を明らかにする。日本への示唆も多いと期待される。

司会：細川孝(龍谷大学)・浅野かおる(福島大学)／通訳：桔川純子(明治大学非常勤)

○趣旨説明：渡部 昭男(神戸大学／「無償化」科研・研究代表者)

○第一報告：韓国教育開発院(KEDI) 研究員 Kim Hoonho 氏

「韓国の国家奨学金制度(給付型・所得連動返還型)——創設意図と仕組み」

○第二報告：(韓国) 大学教育研究所(HEI) 研究員 Yi Suyeon 氏

同研究所理事／祥明大学校教授 Park Keryong 氏

「韓国の国家奨学金制度(給付型・所得連動返還型)——現状と課題」

○指定討論：渡部 昭男(同上／大学評価学会理事)

「韓国の国家奨学金制度(給付型・所得連動返還型)から学ぶべきこと」

○質疑・応答

\*参加費不要／参加自由。(部分参加・当日参加も可能ですが、資料準備の都合がありますので、電子メールにて参加人数等をご一報くださると幸いです。)

基盤研究(B)一般 H27-29 課題番号 15H03474

略称「無償化」科研

研究代表者 渡部昭男(神戸大学大学院教授)

メール・アドレス [akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp](mailto:akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp)